

令和5年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立住吉小学校

1 自己評価書

教育目標 じっくり考え、自分の力でたくましく生き抜く児童の育成						
基本方針 コミュニティ・スクールを推進し、地域の学校支援体制を構築しながら「知」「徳」「体」のバランスのとれた子どもを育成する。						
本年度重点目標 1 コミュニティ・スクールの推進 2 基礎・基本の定着と活学力の向上を目指した確かな学力の育成 3 一人一人を見つめる生徒指導の充実と人権教育の推進 4 健康でたくましい体の育成 5 特別支援教育の充実 6 防災・安全教育の推進						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	B B	B
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B A A	A
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B A	B
			一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B
④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B	
⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B	
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力定着部会を中心に各種調査結果について分析を行い、2学期は算数の基礎学力アップに取り組むことができた。 ・少人数の話し合いやペアでの伝え合いを意識的に取り入れることはできたが、主体的・対話的な学びには至っていない。 ・振り返りの時間の確保、振り返りの質の向上について課題がある。 ・図書委員会を中心とした読書週間の取組やボランティアによる読み聞かせ活動の実施により読書への意欲は高まったが、個人差がある。 ・総合的な学習の時間と生活科の年間計画の見直しを行い、地域素材・人材等を明記することにより活用が促進された。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業始まる前の5分間復習タイムを継続し、各教科の基礎基本の定着を図る。 ・教職員のEILSやロイノートの活用技術のさらなる向上を目指し、研修会に「ちよこっとICT研修」の時間を毎回設定する。 ・振り返りの視点を示した振り返りシートの作成・蓄積により、短時間で取り組める振り返りの方法を工夫する。 ・図書委員会を中心とした「読書マラソン」の実施や学級で本を借りる時間を定期的に設定することにより、読書の啓発を行う。 ・総合的な学習の時間・生活科の年間指導計画に今年度活用した地域素材・人材を加筆し、年間計画がさらに活用しやすいものにする。 						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B A A	A
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A A	A
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B	B
③	基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B	B	
④	自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・教師アンケート ・児童アンケート	B B B B	B	
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己中心的な言動をする児童、規範意識の低い児童に対する指導に課題がある。 ・のびチャ(家庭学習強調週間)の結果を分析・考察し、次の指導に生かすことができています。 ・生徒指導上の諸問題について組織的に対応することができた。 ・学校行事・係活動などにおいて、頑張ったことや良かったことを具体的な場面を捉えて称賛するよう教職員が共通理解の下、取り組んだ。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下の歩き方・挨拶・無言集合について学校全体の課題と捉え、教職員が共通理解の下、指導を行う。 ・学校の課題について児童会や各委員会が改善策を考え、具体的な取り組みを行うことにより、学校の課題に自分事として取り組める児童の育成を目指す。 ・配慮を要する児童について全教職員で共通理解の下支援するとともに、SSW・SC・ハート何でも相談員、関連諸機関と連携し組織的な対応を継続する。また、配慮を要する児童の保護者が課題を抱え込まないよう教育相談を積極的に推進する。 						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革</u> に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B B	B
	② 働きやすい環境づくり	新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとらわれることなく取り組んだ。	・教師アンケート	C	
		③ 他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A
<p>(成果と課題) ・リモートを活用する職員の増加により超過勤務時間は削減することができたが、業務の削減には至っていない。 ・課外活動は短時間で効果的な運営ができた。 ・学校行事の運営について、新型コロナウイルス感染症対策前の実施方法に戻すべきは戻し、良い面は継続することができた。</p> <p>(改善策等) ・リモートの活用をさらに推進する。 ・今年度の反省をもとに、学校行事の運営について検討し、年間計画を作成する。 ・今年度の校務分掌とその仕事量について検証し、教職員の分担について再考する。また、用務員・SSS・地域学校協働活動推進員・ICT支援員など様々な人材の担っている業務内容を整理するとともに、教職員が担っている業務で任ずることができるものがないか検討し、再配分する。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	B	B
			・教師アンケート	B	
			・保護者アンケート	A	
・地域アンケート			A		
② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	B	
		・保護者アンケート	B		
		・地域アンケート	B		
③ 来校・相談体制	保護者や地域の方々に来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	B	B	
		・保護者アンケート	B		
		・地域アンケート	B		
<p>(成果と課題) ・学校運営協議会において委員と教職員が熟議を行うことにより目標やビジョンの共有化が図れた。 ・地域学校協働活動推進員を中心とした地域素材を活用した授業の実践や地域ボランティアによる環境整備活動等への取り組みが活発化した。しかし、地域ボランティアで活動に参加しているのは数名であり、今後さらなる活性化を図りたい。 ・地域の方から「住吉小学校の職員室の雰囲気がよい」との声を頂き、これからも丁寧な対応を継続する。 ・HPでの情報発信が不足している。</p> <p>(改善策等) ・来年度公民館が学校敷地内に移設となることを見据えて、年間行事予定の立案、防災マニュアルの再構築などに公民館と協働して取り組む。また、防災については保育園・地域の防災組織とも積極的に連携し、合同避難訓練の実施に努める。 ・地域ボランティアの募集・登録方法について検討し、新たなボランティア人材を発掘する。 ・学級担任が発行する学級通信を活用してHPをアップする仕組みを構築する。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満